

え～ひだカンパニーをプラットフォームに持続可能な地域づくり

1. え～ひだカンパニー株式会社

経営理念

自治機能と生産機能の発揮による“地域ビジョンの実現と「え～ひだ」の創造”
『利益追求ではなく、地域の人の幸せを追求する』



- ① 自立した地域づくりを計画的におこなえるしくみ
- ② ボランティアばかりに頼らないしくみ

○代表取締役:川上義則 ○H29年3月1日設立
○構成員:72名 ○資本金:864.9万円

2. 取組の概要及び成果

(1) 50/88項目の地域ビジョンを達成

H27年にアンケートやワークショップに取り組み幅広い世代、地域の思いを積み上げて、地域振興と農業振興を両輪とした「比田地域ビジョン」を作成。
地域団体と協力しながら、結果を出して納得を得て、ビジョンを実践し、88項目のビジョンのうち、50項目を達成。

(2) 地域ビジョン実現に向けて持続可能な株式会社化リーダーがいなくなっても活動が継続するしくみとして株式会社を選択。

中心メンバーの多くが40～50代と若く、それぞれが特技を生かして身の丈にあった役割を果たして活躍。

持続可能な組織となるために
2017年3月1日
え～ひだカンパニー株式会社
として法人化
<会社化を選択した理由>

- ① 継続性
- ② 社会的信用力
- ③ 責任 (社会的責任、株主への責任)

20～30歳代	10名
40～50歳代	41名
60～70歳代	21名
構成員	72名
平均年齢	48歳
※2024年現在	

若者 高齢者
比田を未来へつなげるために協力

(3) 中山間直払いの集落協定広域統合でメリット享受
13協定を4協定に統合することで交付金が増額され、地域の事務負担は軽減。え～ひだカンパニーは、事務代行により雇用人件費を獲得。

(4) 多様な事業展開による雇用の創出

農業生産で財源を生み、生活や定住促進といった地域づくりを含めた多様な事業を展開し、正規社員3名、パート職員13名、日々雇用20名程度の雇用を創出。

各部門の活動が複合的に地域に貢献

代表者から一言

比田地区を持続可能な地域としていくためには、地域づくりの想いを世代から世代へ繋いでいくことが必要であり、「え～ひだカンパニー」がそのバトンを渡す駅のプラットホームのような役割を担っていきたい。

(株)え～ひだカンパニー 代表取締役 川上義則氏



3. 課題と今後の取組方向

- (1) 認定農業者数名と一緒に「比田の農業を考える会」を立ち上げ、農地集約化等による効率的な生産と安定的な収入の確保。
- (2) 経営理念の「幸せの追求」と株式会社の「利益追求」のバランスを取りながら両立。
- (3) 宿泊施設を活用した農業体験プランを展開し、比田のファンづくりと定住促進。